

りそなグループのCSR(企業の社会的責任)

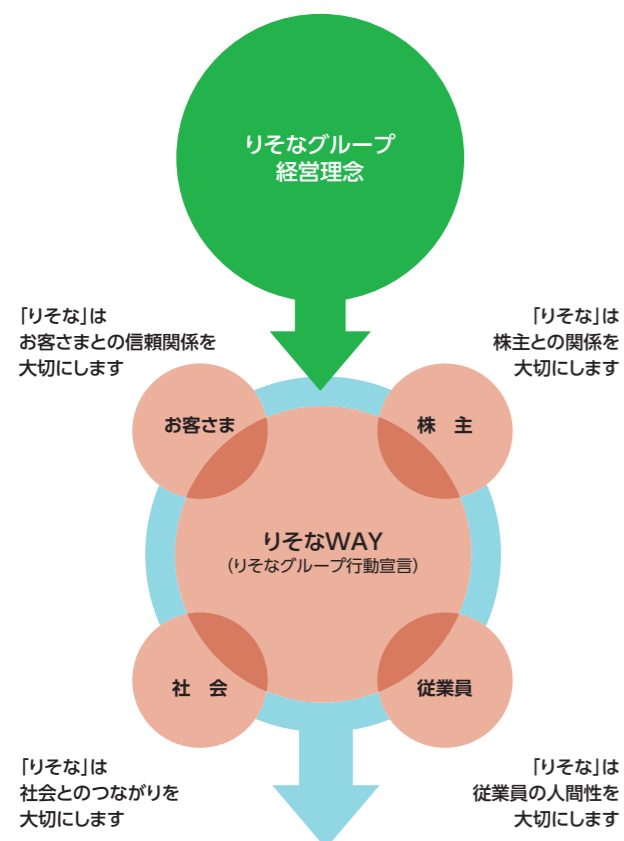
CSRマネジメントに関する基本的な考え方

<経営理念、行動宣言とCSR方針の関係>

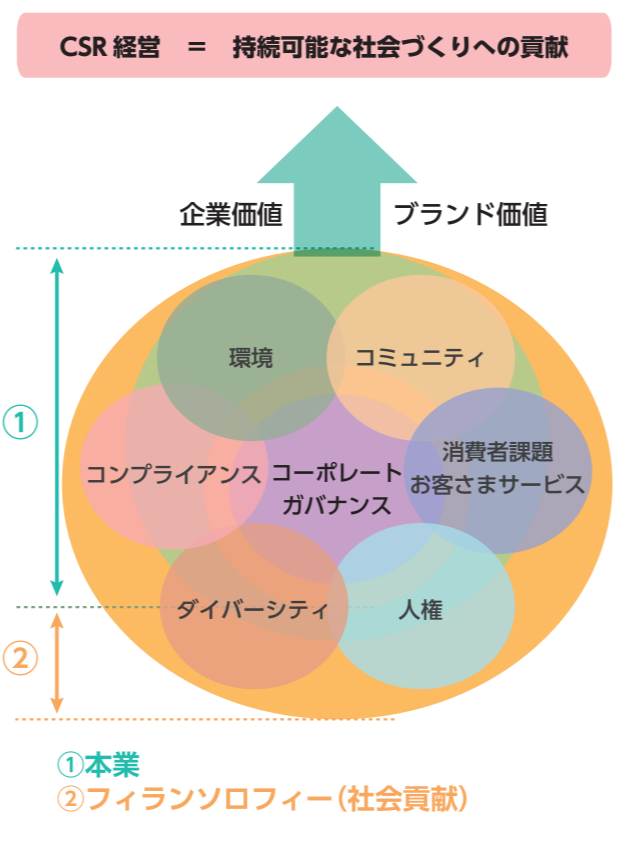
りそなグループでは、「CSR経営=持続可能な社会づくりへの貢献」と位置づけ、全役員・従業員が進むべき方向、共有すべき価値観を示すものとして「りそなグループ経営理念」を、その基本姿勢を具体化するものとして「りそなWAY(りそなグループ行動宣言)」を定めています(→P.1)。

これらに基づき、当グループでは「企業の社会的責任に対する取り組み姿勢」を明確化するため、国際規格「ISO26000」が掲げる中核課題に沿って「りそなグループCSR方針」を定めています。この「グループCSR方針」で、明確に示した7つの社会的課題に対して「CSR目標」を定め、取り組みを推進しています。

■ 経営理念、行動宣言とCSR方針の関係



■ CSR経営の概念図



課題項目	方針
コーポレートガバナンス	責任ある経営体制および経営に対する監視・監督機能の強化に努め、すべてのステークホルダーに対する説明責任を果たします。
人権	当社が影響を及ぼすお客さま、株主、従業員等、すべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重する企業風土・職場環境を醸成します。
ダイバーシティ	職場における能力開発の機会を通じた人材育成および成果の公正な評価とダイバーシティの組織風土の定着を推進します。
コンプライアンス	法令・ルール・社会規範の遵守を通じて、すべてのステークホルダーに対して責任ある企業活動を行います。
消費者課題/お客さまサービス	お客さまの大切な個人情報・資産を守り、一人ひとりの立場に立った質の高い金融サービス、啓発の機会を提供します。
コミュニティ	地域との共生を大切な使命と位置づけ、自社の持つ経験・資源を活用して、社会的課題の解決に取り組みます。
環境	かけがえのない地球環境を大切に、環境に配慮した企業活動を適切に実践します。

CSRの重点課題(マテリアリティ)


<りそなグループのCSRの重点課題>

CSRに対する社会的要請を踏まえ持続可能な社会づくりに貢献するとともに、企業価値向上に繋がる、りそなグループらしいCSRを実践するために、「地域」、「次世代」、「ダイバーシティ」、「環境」の4つを重点課題として特定し、活動を推進しています。




■ 重点課題の特定プロセス

- 1 検討すべき社会的課題の抽出**
 りそなグループCSR方針で示した7つの課題(コーポレートガバナンス、人権、ダイバーシティ、コンプライアンス、消費者課題/お客さまサービス、コミュニティ、環境)に沿って、GRIガイドライン(G4)やISO26000のフレームワーク、外部評価項目等を踏まえて、22項目の社会的課題を抽出。
- 2 りそなグループの優位性・優先度の検討**
 「1」で抽出した社会的課題について、「経営理念」「経営戦略」「りそならしさ(強み、差別化、ブランド向上)」を踏まえ、優位性・優先度を検討。
- 3 ステークホルダーにとっての重要度の検討**
 外部有識者へのヒアリングを通じて、ステークホルダー(お客さま、従業員、地域社会、りそなグループの株主、投資家、政府/行政、ビジネスパートナー、NPO/NGO)の視点に立った重要度を検討。



CSRアジア 東京事務所 日本代表
赤羽 真紀子氏



日本政策投資銀行 環境・CSR部長
竹ヶ原 啓介氏

いただいた主なコメント

- 全国展開する大手金融機関でありながら地域密着型にこだわり、また充実した信託機能も有していることが、地域経済の活性化に大きく貢献していると考えます。そしてこのりそならしさが、さらなる競争力や企業価値増大につながるものと期待します。
- オムニチャネル戦略の推進は、お客さまの便益の向上に加え、生産性の改善や環境負荷低減へも貢献しており、事業を通じた社会課題解決の好事例と考えます。
- 社会課題解決において、金融機能を介して経済界の環境・社会対応を促すことは金融機関のもっとも重要な活動の一つであり、投融資先の環境配慮をクレジットポリシーに盛り込んだことは評価に値すると思えます。